

CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西日本物流センター	階数	地上4F
建設地	京都府久世郡久御山町栄二丁目1	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	XX 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	3,000 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2011年12月 予定	評価の実施日	2008年8月19日
敷地面積	4,959 m ²	作成者	正木
建築面積	3,234 m ²	確認日	2008年7月10日
延床面積	6,902 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 大項目の評価(レーダーチャート)

2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 人と物の動線に配慮した設計とした。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 断熱材、ペアガラスの使用。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 事務棟にリフレッシュスペースとして食堂を設け、自販機を設置。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 緩衝緑地を設け敷地内外の環境に配慮した。庇を設置した。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 環境配慮型照明、LED照明の使用。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 リサイクル可能建材の使用。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建物を住宅地からできるだけ離れた配置とし、緩衝緑地を設けた。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい